日立キャピタル

HITACHI
Inspire the Next

「2019～2021年度 中期経営計画」の進捗

2020年5月29日

日立キャピタル株式会社

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

日立キャピタル

HITACHI
Inspire the Next

Contents

1. めざす姿
2. 2021中計概要
3. 重点事業へのシフト
4. 地域戦略の深化
5. 付加価値の向上
6. 非財務資本の強化
7. 新型コロナウイルス感染症について
8. まとめ

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

1. めざす姿

HITACHI
Inspire the Next

SDGsを基点とした社会価値創造

バックキャスティング

めざす姿
社会価値創造企業

社会課題の解決と
持続的成長の両立

ROE：10%超、ROA：2%以上
CAGR*：5～8%程度

2021中計

バリューアップステージ

2018中計

成長セカンドステージ

効果刈り取り

めざす姿に向けた
経営戦略

*CAGR：税引前利益の年平均成長率

日立キャピタル

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

2-1. 2021中計概要：2021中計ハイライト（主要経営戦略）

HITACHI Inspire the Next

事業戦略	重点事業へのシフト	■ メガトレンドを踏まえた重点事業へのシフト
	地域戦略の深化	■ 日本事業のさらなる収益性向上：ROA 2%以上 ■ グローバル事業の規律ある安定成長
	付加価値の向上	■ 事業モデルシフトの加速 ■ 事業強化策への経営リソースの重点投入
経営基盤	非財務資本の強化	■ 成長を支える経営基盤の強化 ■ ESG経営の推進
株主還元	株主還元の強化	■ 配当性向の引き上げ(40%程度) ■ 株主還元、格付維持、成長投資のバランス維持

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

2-2. 2021中計概要：メガトレンド

HITACHI
Inspire the Next

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

Society 5.0
ソサエティ

～メガトレンド～

エネルギー　モビリティ（交通）　都市化　ヘルスケア　人口増加

スマート化　イノベーション

テクノロジーの進展（デジタル技術やデータ利活用）	シェアリングなどの新たなサービスモデル

*1 SDGs：2030年までに達成すべき地球規模の課題を掲げた国連採択の行動計画
17の持続可能な開発目標と169項目の具体的なターゲットから構成される

*2 Society5.0：日本政府が打ち出した未来社会のビジョン
サイバー空間とフィジカル空間(現実空間)の融合により、経済発展と社会的課題の解決を両立した人間中心の社会をめざすもの

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

2-3. 2021中計概要：重点事業

HITACHI
Inspire the Next

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

3-1. 重点事業へのシフト：環境・エネルギー

HITACHI
Inspire the Next

2021中計方向性

● 当社の強みである風力発電・省エネサービスでグローバルに攻勢

2019年度の成果

国内再生可能エネルギー事業の拡大

【発電サイト数(19年度)】
風力発電　：33サイト
太陽光発電：47サイト

34.5MW

十三湖風力発電所*
運転開始(19年7月)

36.4MW

岡山県新見市太陽光発電所
運転開始(20年2月)

4.9MW

蔵王臼久保山太陽光発電所
運転開始(20年3月)

【[国内]発電容量(MW)】

グローバル展開

● 英国における再エネ利用とEV化の加速を支援するため、英国市場をリードする技術を持つGRIDSERVE Sustainable Energy社とパートナーシップを締結

【ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ例：太陽光発電および最先端技術を駆使したEV充電ｽﾃｰｼｮﾝが完成予定】

サービスの特徴	
	・ドライバーに対して、EVへの高速充電を提供 ・太陽光発電のクリーンエネルギーを供給 ・英国全土に100箇所超を展開する5年計画

当社のファイナンスノウハウ、知見を活用し、プロジェクトを支援

日立キャピタル

＊試運転開始は2018年12月(発電容量実績は18年度に含む)

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

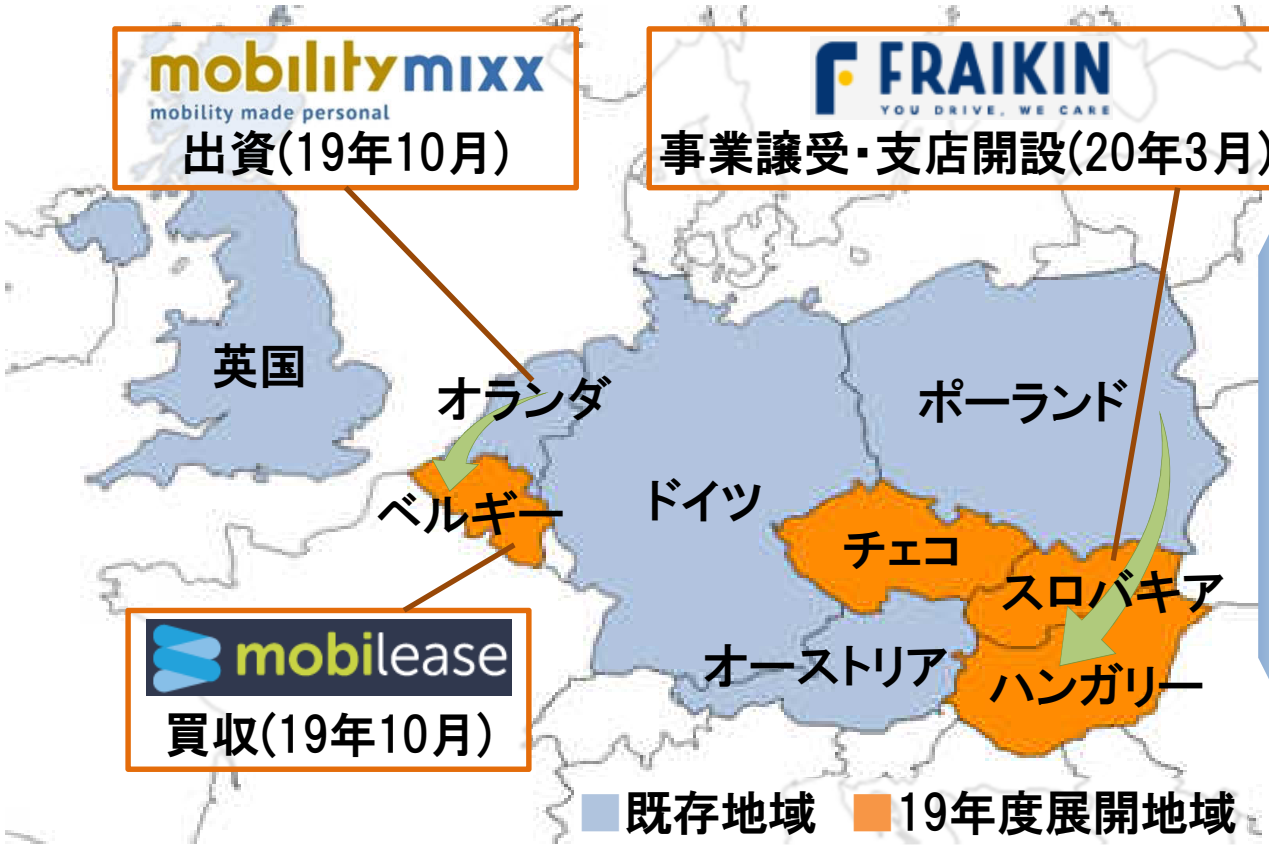
3-2. 重点事業へのシフト：モビリティ

HITACHI
Inspire the Next

2021中計方向性

- 欧州大陸における面の拡大
- データ利活用によるモビリティソリューションへの進化

2019年度の成果



【展開地域の拡大】
5カ国⇒9カ国
（18年度）　（19年度）

【車両管理台数の増加】
10.2万台⇒11.6万台
（18年度）　（19年度）

MaaS事業のプラットフォームを獲得

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

3-3. 重点事業へのシフト：ライフ

HITACHI
Inspire the Next

2021中計方向性

- 豊かな暮らしの実現に向けたソリューションの強化
- ASEAN地域への展開加速

2019年度の成果

QOLの向上に向けて

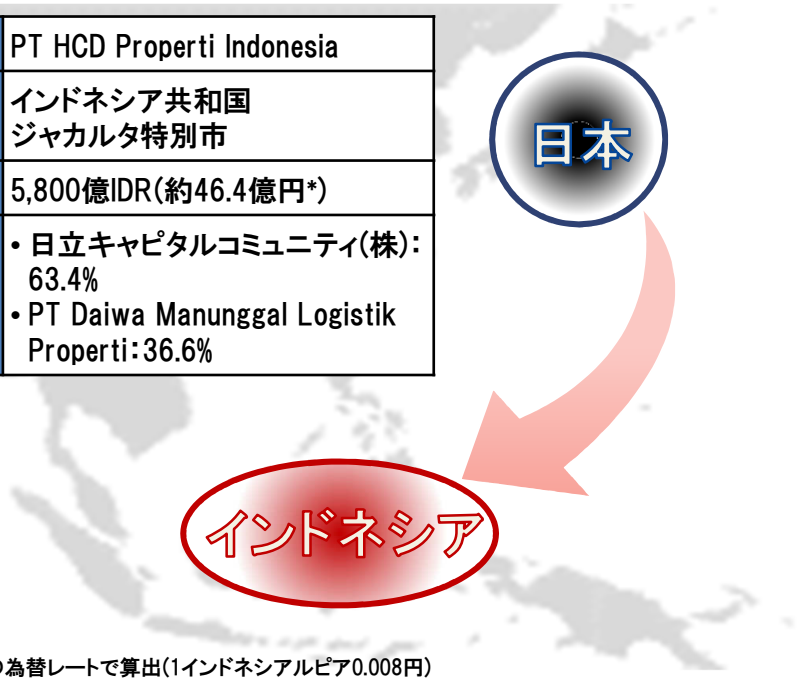
- ライフステージにあわせた最適なくらしの実現をめざした、新たなサービスを開発（20年4月から実証実験を開始）

取得データ	・機器利用履歴（時間帯、頻度、メニューなど） ・空調（温度、湿度、空気の汚れ具合など） ・室内動線　・疲労度、心拍、眠りの深さなど

新たな事業機会の獲得

- 大和ハウスグループと共同でインドネシアに事業会社を設立（19年12月）

名称	PT HCD Properti Indonesia
所在地	インドネシア共和国 ジャカルタ特別市
資本金	5,800億IDR（約46.4億円*）
株主比率	・日立キャピタルコミュニティ（株）：63.4% ・PT Daiwa Manunggal Logistik Properti：36.6%



＊ 発表時の為替レートで算出（1インドネシアルピア0.008円）

日立キャピタル

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

3-4. 重点事業へのシフト：販売金融

HITACHI
Inspire the Next

2021中計方向性

● ベンダーの利便性追求による競争力の強化

2019年度の成果

新たなビジネスモデルの開発

● リース物件からさまざまなデータを取得することで、課題解決に向けた新たなビジネスモデルを志向
(20年3月から順次実証実験を開始)

IoTリース実証実験の概要

① リース設備に搭載したセンサーでデータを測定
② データを活用したサービスの実効性を検証
(効率的な使用方法のコンサルティングなど)
<対象物件(例)：射出成型機>

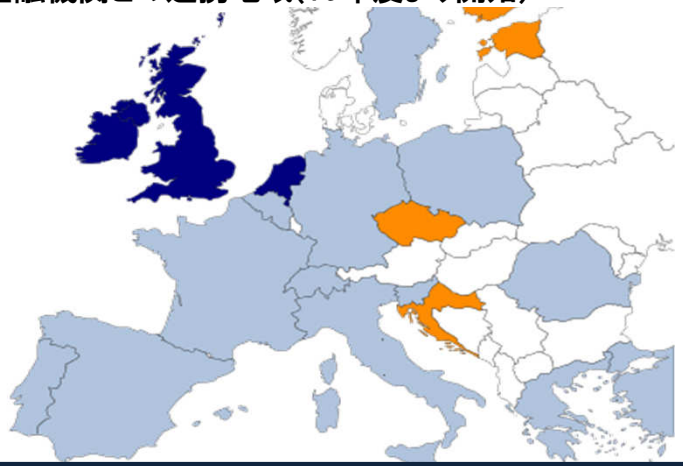
取得データ	・稼働状況 ・温度など

取得データを分析し、生産性向上などを支援

地域カバレッジの拡充

● オランダ営業所の法人化(19年4月)で販売金融を強化

■販売金融の事業拠点
■外部金融機関との連携地域(既存)
■外部金融機関との連携地域(19年度より開始)



外部金融機関との連携による地域拡充

18年度：17カ国 ⇒ 19年度：21カ国

日立キャピタル

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

4-1. 地域戦略の深化：日本事業

HITACHI
Inspire the Next

2021中計 活動方針

● 重点事業へのシフトとコスト構造改革の継続
⇒さらなる収益性の向上

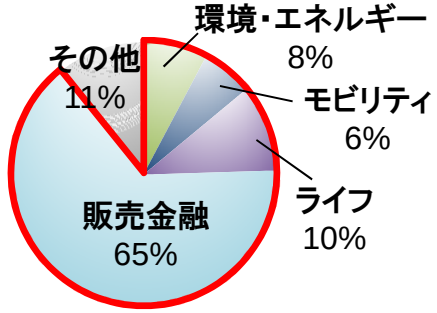
2019年度の成果

● **重点事業の拡大**
・太陽光・風力発電事業
（【発電容量】18年度：515MW→19年度：593MW）
・販売金融（Windows10入替需要の獲得）
（PC取扱高の伸長：前年比158%）

● **ベンダーソリューションのOHR改善**
（18年度：56.8%→19年度：54.4%）
・ベンダーとのシステム連携、審査AI活用

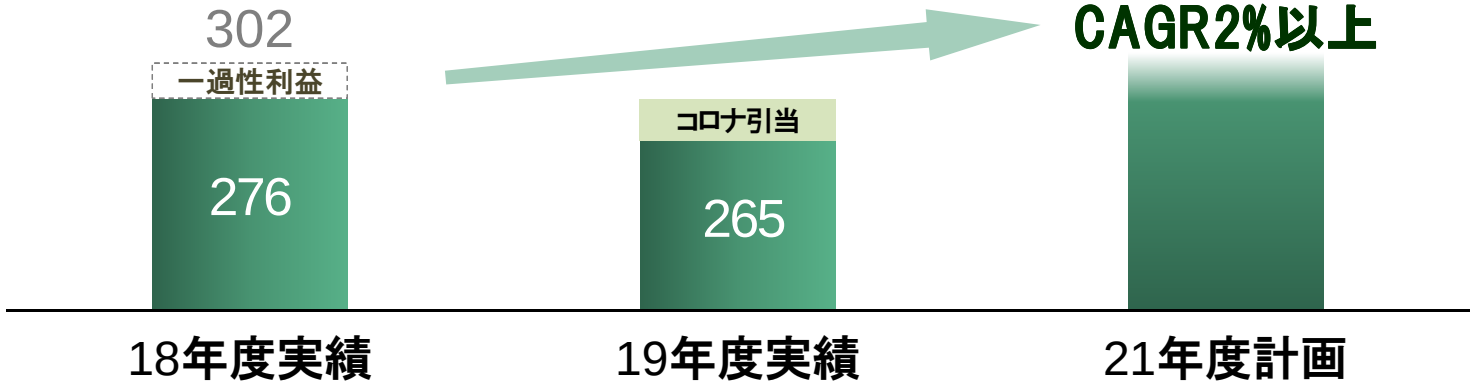
<(ご参考)重点事業構成比>

2019年度(営業資産)



○：重点事業

税引前利益（単位:億円）



※コロナ引当：2020年度前半（概ね6カ月程度）の信用リスク悪化を想定し、貸倒引当金を計上　CAGR:2018年度から2021年度の年平均成長率

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

4-2. 地域戦略の深化：欧州事業

HITACHI
Inspire the Next

2021中計 活動方針

● 英国事業の安定成長と欧州大陸展開の加速
⇒外部環境に左右されない成長の志向

2019年度の成果

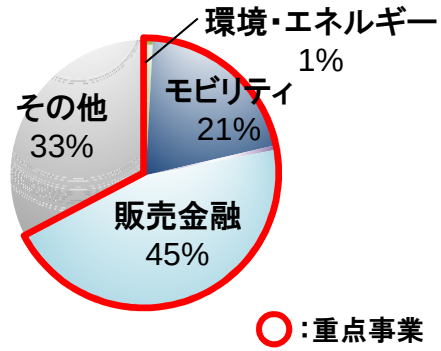
● **英国事業の安定成長**
(英国の税引前利益成長率：108%*1)
・DXの推進による顧客満足度の向上

● **欧州大陸への展開**
・ﾍﾞﾙｷﾞｰ、ﾁｪｺ、ｽﾛﾊﾞｷｱ、ﾊﾝｶﾞﾘｰ
・(欧州大陸比率*2)18年度：6%→19年度：7%

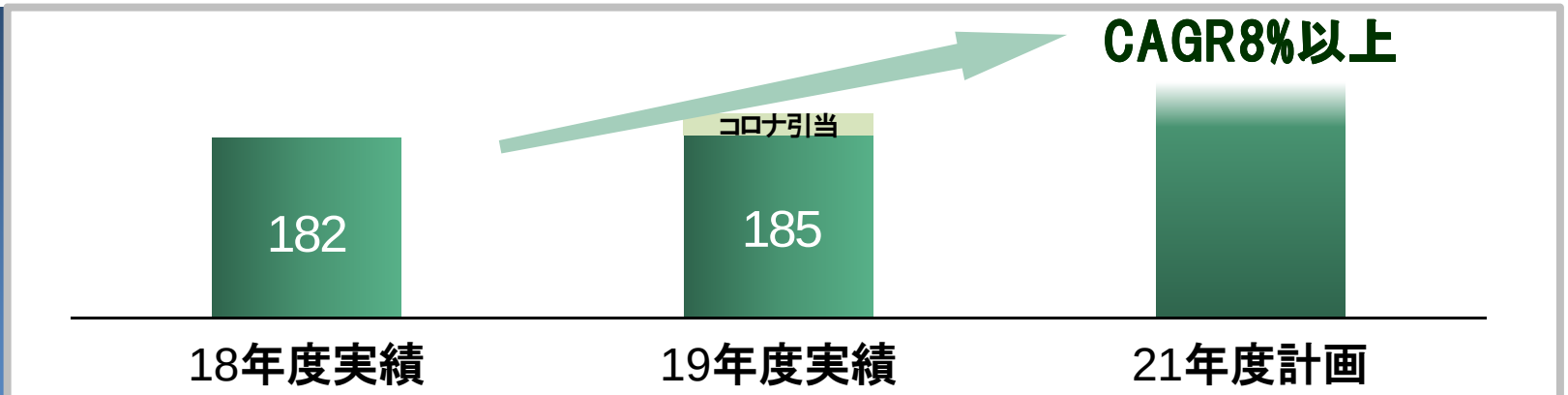
● **MaaS事業(オランダ)への本格参入**

<(ご参考)重点事業構成比>

2019年度(営業資産)



税引前利益
(単位:億円)



※コロナ引当：2020年度前半(概ね6カ月程度)の信用リスク悪化を想定し、貸倒引当金を計上　CAGR:2018年度から2021年度の年平均成長率(為替一定ベース)

*1 新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ影響・為替影響除き　*2 営業資産残高
© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

4-3. 地域戦略の深化：米州事業

HITACHI
Inspire the Next

2021中計 活動方針

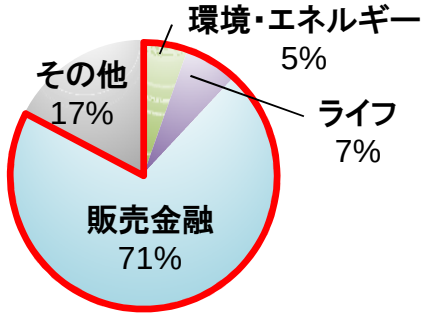
- 新たな主力ビジネス構築による再成長
- 販売金融や環境・エネルギーへの注力

2019年度の成果

- パートナー連携によるサブスクリプション型の省エネ事業への参入
- 事業構造改革の推進
  ・大口ファクタリング事業の収束など
- カナダ事業の伸長
  (カナダの税引前利益成長率：106%*)

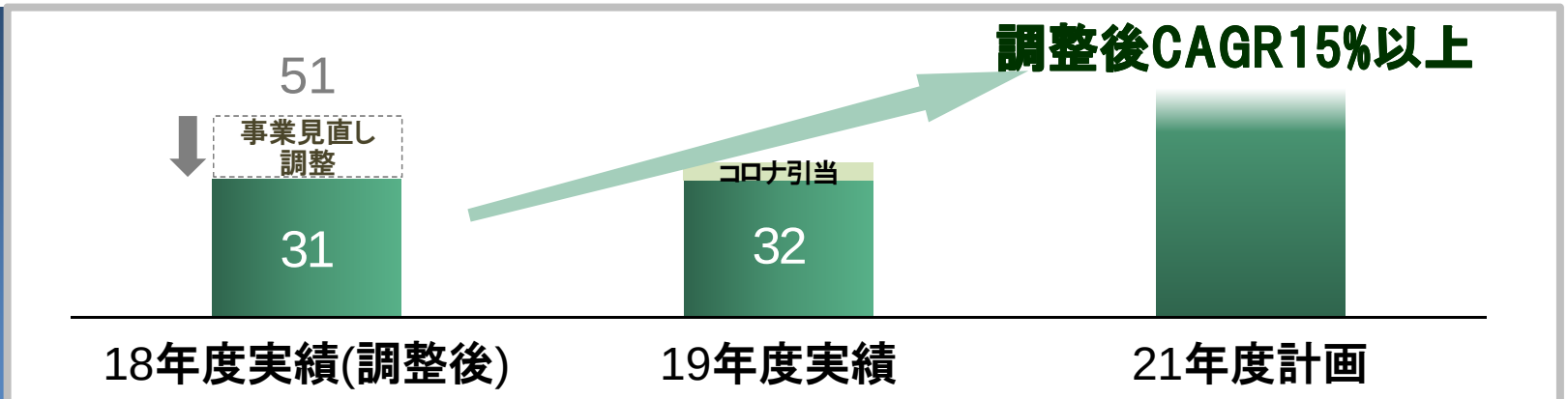
<(ご参考)重点事業構成比>

2019年度(営業資産)



○：重点事業

税引前利益 (単位:億円)



※コロナ引当：2020年度前半(概ね6カ月程度)の信用リスク悪化を想定し、貸倒引当金を計上　調整後CAGR:2018年度から2021年度の年平均成長率(事業見直しを反映して計算、為替一定ベース)

日立キャピタル　* 為替影響除き

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

4-4. 地域戦略の深化：中国事業

HITACHI
Inspire the Next

2021中計 活動方針

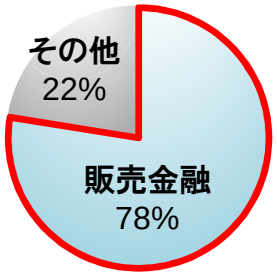
- 事業の選択と集中による、事業戦略の抜本的な見直し
- 販売金融(小口分散モデル)への回帰

2019年度の成果

- **【中国内地】パートナー連携強化**
  (日立、MUFG、地域パートナーなど)
- **【香港地区】販売金融(複合機)におけるパートナー連携強化**
- **抜本的な事業見直しの実行**
  ・大口ファクタリング事業の収束など

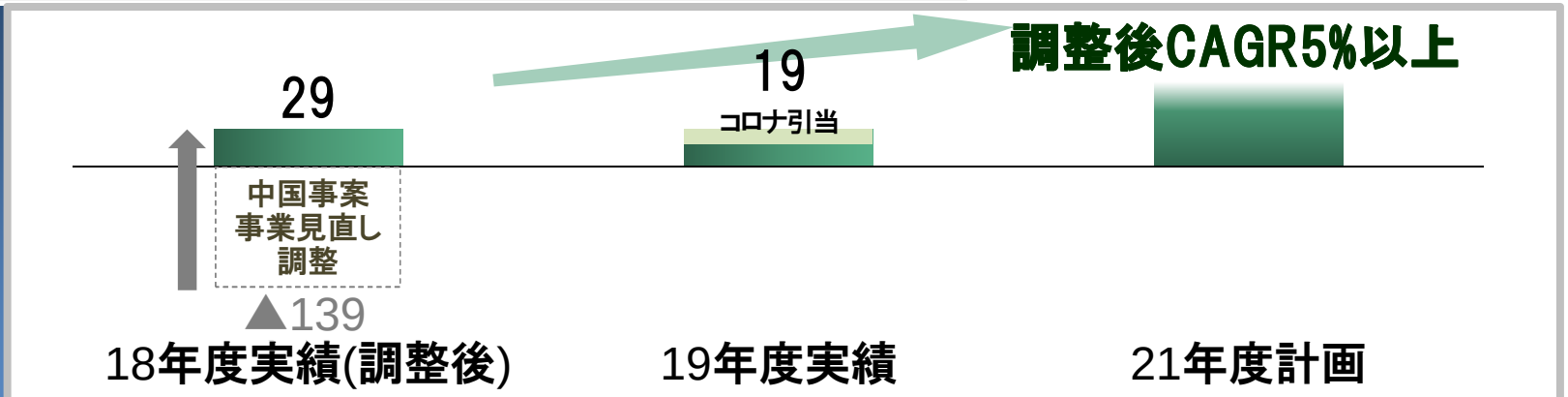
<(ご参考)重点事業構成比>

2019年度(営業資産)



○：重点事業

税引前利益 (単位:億円)



※コロナ引当：2020年度前半(概ね6カ月程度)の信用リスク悪化を想定し、貸倒引当金を計上　調整後CAGR:2018年度から2021年度の年平均成長率(事業見直しを反映して計算、為替一定ベース)

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

4-5. 地域戦略の深化：ASEAN事業

HITACHI
Inspire the Next

2021中計 活動方針

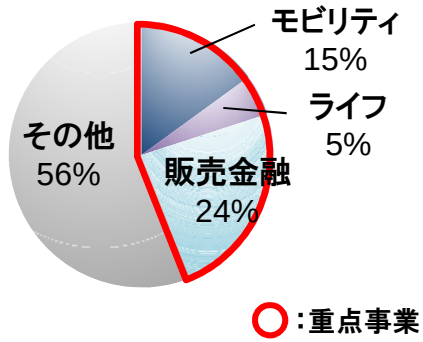
- 地域ニーズと各社リソースに合わせた事業領域と面の拡大推進
- ライフなどの重点事業における新たな事業機会の模索

2019年度の成果

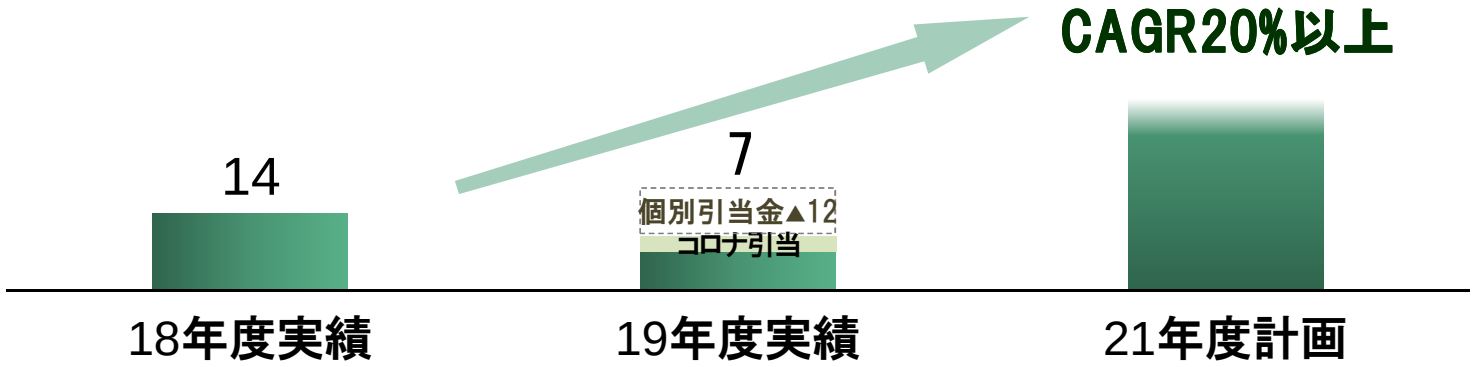
- 事業拡大によるトップラインの増加
  (売上総利益成長率：104%*)
- 大和ハウスグループとの共同による
  インドネシアにおける事業会社の設立
- パートナー連携強化
  (日立グループ、日系・地域パートナー)

<(ご参考)重点事業構成比>

2019年度(営業資産)



税引前利益 (単位:億円)



※コロナ引当：2020年度前半(概ね6カ月程度)の信用リスク悪化を想定し、貸倒引当金を計上　CAGR:2018年度から2021年度の年平均成長率(為替一定ベース)

日立キャピタル　* 為替影響除き

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

5-1. 付加価値の向上：パートナー連携

HITACHI
Inspire the Next

重点事業におけるパートナー連携を強化

環境・エネルギー

- 日立パワーソリューションズ
- GRIDSERVE Sustainable Energy
- みんな電力
- イーパワー

モビリティ

- 日立物流
- 住友三井オートサービス
- EV関連企業
- カーシェアリング企業

共通

- 日立グループ
- MUFGグループ
- 三菱UFJリース
- JII

ライフ

- 大和ハウスグループ
- 東京農業大学
- シャープ
- 旭化成ホームズ

販売金融

- 複合機ベンダー
- 医療機器ベンダー
- 横河電機
- アムニモ

日立キャピタル

MUFG：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
JII：ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

5-2. 付加価値の向上：事業強化

HITACHI
Inspire the Next

事業環境を踏まえた堅実な投資の実行

バリューアップステージの実現

M&A	R&D	DX
<2021中計における投資規模(3年間累計)>		
約500～1,000億円 （営業資産残高）	約30億円 （投資額）	約150億円 （投資額）
主な取り組み		
● モビリティの欧州展開（ベルギー、チェコ、スロバキア、ハンガリー） ● オランダMaaS企業に出資 ● 米国サブスクリプション型省エネ事業企業に出資	● くらしのプラットフォーム実現に向けた実証実験 ● IoTリース開発に向けた実証実験 ● 食品残渣を原料とした有用化学品に関する研究	● 販売金融の審査業務におけるAI活用 ● モビリティにおける車両管理システムの最適化 ● ITツール導入によるバックオフィスの効率化
地域・サービスの拡充	新規事業創出	業務品質・効率の向上
19年度：約56億円	19年度：約2.6億円	19年度：約50億円

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

6. 非財務資本の強化：ESG経営

HITACHI
Inspire the Next

【2019年度の取組み】

Environment（環境）
【めざす姿】
2050年度：
CO2排出量ゼロ

- 国内車両台数の削減(20台削減(7%相当))
- オフィスでの省エネ活動のさらなる推進
- 国際長期コミットメント(TCFD*1、SBT*2)に賛同

Society（社会）
【めざす姿】
社員エンゲージメント
80%

- 働き方改革プロジェクトの推進
- 時代に合った報酬制度の構築
- シニア・契約社員活躍に向けた制度拡充

Governance（企業統治）

- 中国不正常取引：再発防止策の徹底完了
- グループ会社に対するガバナンス強化
- 業績連動型株式等報酬制度の拡充

*1 TCFD：気候変動関連財務情報開示タスクフォース　*2 SBT：科学に整合する温室効果ガス削減目標

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

7-1. 新型コロナウイルス感染症について：当社の対応

HITACHI
Inspire the Next

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて

- 社員の健康状態把握
  （毎朝の検温・報告の義務づけ）
- 社員に対するマスク配布
  （着用の徹底）
- 社員に対する支援金の
  （一律）支給
- 特別休暇制度の導入

- グローバルにおける現状
  把握と対策実行
- コーポレート部門ごとに
  BCP策定
- 有事に備えた手元
  流動性の確保

- テレワーク徹底:7割以上
- 営業の在り方再検討
  （非対面による活動推進）
- デジタル技術の活用
- 業務プロセスの見直し

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

7-2. 新型コロナウイルス感染症について：環境認識

HITACHI
Inspire the Next

景況感

- ロックダウン(都市閉鎖)などの措置で、経済活動が厳しく制限されることで、当面は設備投資や個人消費が大きく減少
- 中小企業(特にサービス関連)の倒産件数増加、それにともなう失業率の悪化
- 厳しい措置が当面は継続するが、第2四半期以降、ロックダウンが段階的に緩和・見直されることで、経済活動や個人消費が穏やかに回復
- 完全な終息は困難、かつ第2波(ならびに第3波)の到来懸念も存在するが、第1波で得た経験や治療法の進展により、経済環境への影響は限定的

トレンド

- 企業活動におけるテレワーク・働き方改革の加速
- 外出自粛要請やヒトの移動制限にともなう、EC活用の積極展開
- 5Gなどの通信インフラ開発投資の拡大
- 3密回避に向けた、都市化(都市部への人口集中)の鈍化
- ヘルスケアにおける予防、衛生ニーズの高まり
- ロックダウン解除後の反動需要(特に個人消費)

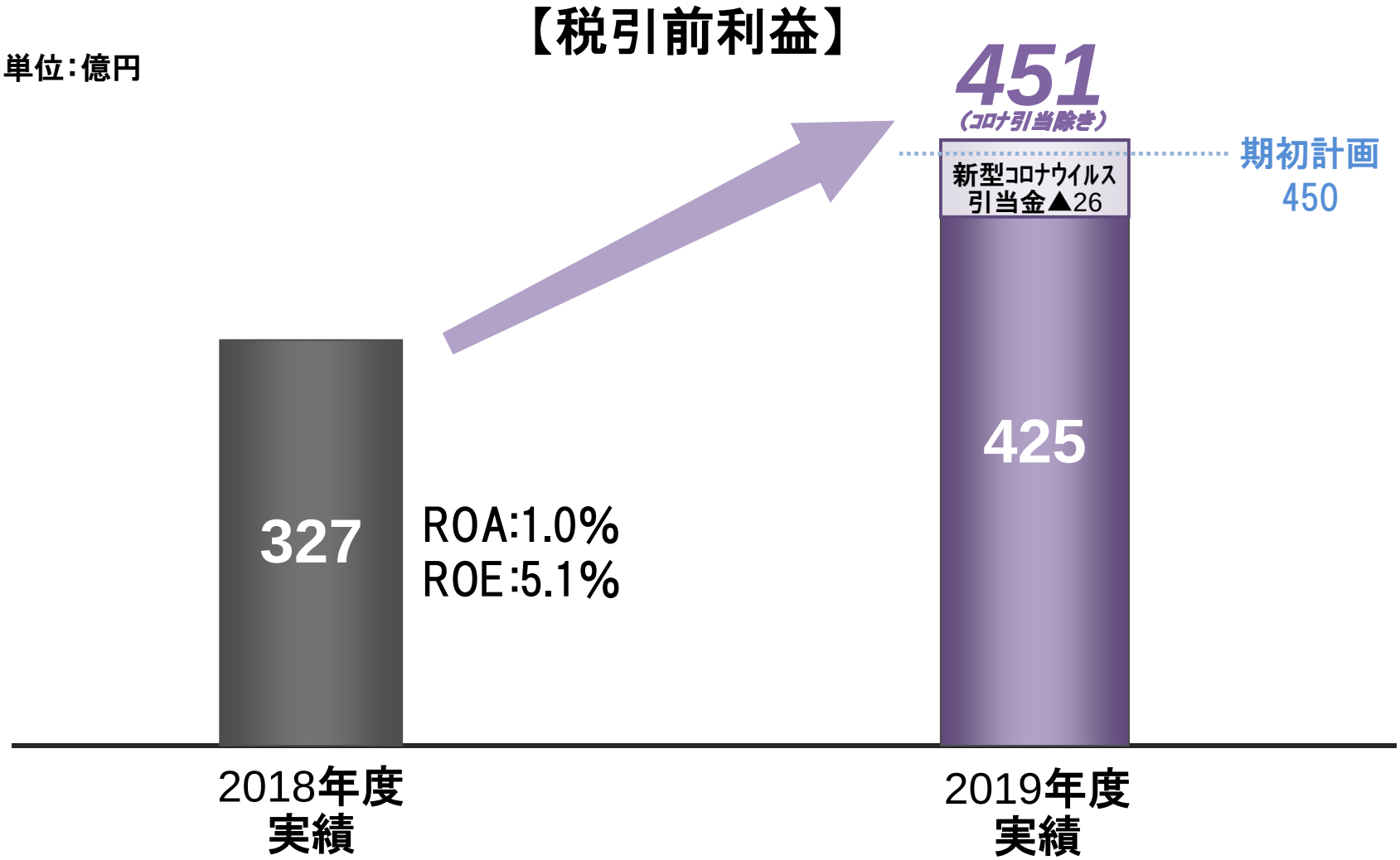
➢ ***ポストパンデミック新常態に備えた新たな事業機会の模索***

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

8. まとめ:定量実績

HITACHI
Inspire the Next

2019年度:実力ベースで期初計画(450億円)を達成



© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

8. まとめ：定量目標

HITACHI
Inspire the Next

<2020年度予想*>

新型コロナウイルス感染症が2020年6月頃までは当社の業績に大きく影響を及ぼし、2021年3月までに緩やかに回復するという仮定のもと、取扱高ならびに売上収益の減少などを織り込んだ試算値

	【2019年度】	【2020年度予想*】	【2021年度目標】
税引前利益	425億円	385億円	550億円
資産効率（ROA）	1.3%	1.2%	1.7%
資本効率（ROE）	8.1%	7.1%	9%

※為替レート：2019年度は1ポンド138円、1米ドル109円、2020・2021年度は1ポンド135円、1米ドル108円にて算出

© Hitachi Capital Corporation 2020. All rights reserved.

HITACHI
Inspire the Next

日立キャピタル

https://www.hitachi-capital.co.jp/

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご認識いただき、資料をご活用ください。